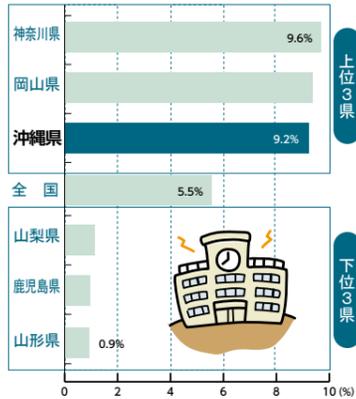


## 【女性校長比率（中学校）】

9.2%

(2012年度)



政府の成長戦略の中核には「女性の活躍」が盛り込まれた。一般的に女性はたくましいと言われ、社会進出が比較的進んでいる沖縄。教育の世界では女性の割合が特に高いようだ。

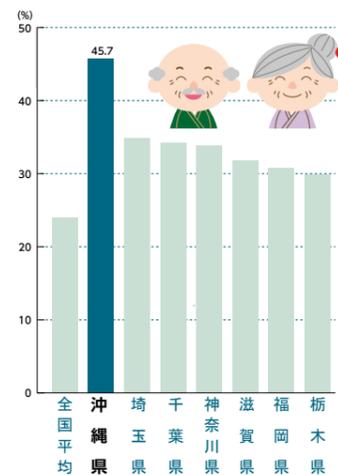
文部科学省「2012年度校長・教頭の登用状況」によると、沖縄県公立中学校における女性校長の数は11人。割合にすると9.2%で神奈川県、岡山県に次いで全国3位の水準である。特に女性の教員数は、10年前と比較すると78人増え、その割合は51.1%と過半数を超える。これが最近の女性校長の輩出に大きく影響しているようだ。

職場における気配りや人間関係面、チームワーク形成に積極的な傾向があるのが女性の魅力か。沖縄の男女共同参画社会の形成に向けて、教育界が率先して模範を示し、たくましい社会人女性がより多く育つことを期待したい。  
(海邦総研/湧川竜也)

## 【65歳以上将来老年人口増加率】

45.7%

(2025年/2010年)



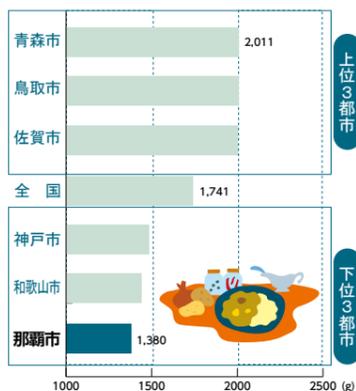
沖縄県の総人口に占める65歳以上の高齢者比率は17.4%。全国で最も低いという。そんな沖縄でもこれから高齢化の波は急速にやってきそう。国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月推計)」によれば、65歳以上高齢者数の10年推計は24万2510人だが、25年には45.7%増加すると見込まれており、増加率は全国一となる。高齢者1人を支える生産年齢人口(15歳~64歳)は、この間3.7人から2.4人にまで減少すると見込まれており、地域全体での高齢者支援の必要性が高まる。高齢者の生活を支える住まいであるサービス付き高齢者向け住宅は県内登録棟数が50棟と昨年暮れの28棟から半年で大きく増えている。

今のうちから老後の住まいを支える仕組みを整えて、将来も安心できる社会を築いていきたいものだ。  
(海邦総研事業支援部/比嘉明彦)

## 【カレーの世帯あたり年間消費量】

1,380g

(2010年~2012年平均値)



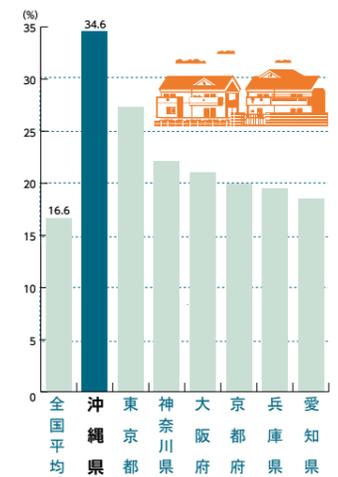
スパイシーな料理は新陳代謝を高め、体感温度を下げるといわれている。このため、世界中の暑い地域でそうした調理法が発達した。中でも日本に根付き、親しまれているのがカレー。総務省「家計調査」によると、那覇市におけるカレーの年間消費量(2010年~2012年平均)は1,380gで、暑い地域ながら全国最下位。カレーは戦後の学校給食で定着したが、状況の異なる沖縄では普及が進まなかったようだ。

カレーのメインとなるスパイスは、沖縄でもなじみ深いターメリック(ウコン)や唐辛子。カレーの具には夏野菜がよく合うが、多くは県内で生産が盛んな作物だ。地元の食材を活かした沖縄らしいカレーが食べられる店が増えれば、観光客に喜ばれるだろう。そして、沖縄に暮らす私たちがスパイシーな食事を楽しみ、暑い季節を元気に乗り切りたいものだ。  
(海邦総研/鮫島智行)

## 【中層共同住宅の割合】

34.6%

(2008年)



賃貸物件情報に目を通していると、賃貸料が手頃なアパートに目がいてしまう。なかでも中層住宅といわれる3~5階建てのアパートはラインナップが多い。総務省「2008年住宅・統計調査」によると、県内の居住用建物は約50万戸。そのうち約17万戸は中層共同住宅、いわゆるアパート等で、その割合は34.6%と全国1位の水準となっている。沖縄は人口密度が比較的高く、地価も高めなため、アパート等が多いことは納得できる。なかでも中層共同住宅が多いのは、容積率や建ぺい率などの都市計画事情に加え、5階建てまではエレベーターの設置義務がないことなども影響しているとみられる。

建設コストが低く抑えられ、賃貸であれば家賃も低く抑えられる。中層共同住宅は建てる方にも住む方にも合理的な、沖縄に合った住宅形態なのかもしれない。  
(海邦総研/瀬川孫秀)

## 【音楽教室の数】

32.3軒

(2009年・10万人あたり)

順位	都道府県	人口10万人あたり事業所数
1位	沖縄県	32.3
2位	長野県	28.3
3位	石川県	27.6
4位	新潟県	26.9
5位	富山県	23.5
6位	宮崎県	23.3
7位	福井県	22.4
8位	山梨県	21.2
	全国平均	17.0

道を歩いていると、三線教室や民謡教室の看板をよく見かける。また、観光客向けにも三線体験教室が開かれていたり、民謡酒場で生の音楽を楽しめるなど、人々は比較的容易に沖縄の音楽に触れることができる。

総務省「2009年経済センサス基礎調査」によれば、沖縄県内に所在する音楽教授事業所数、いわゆる音楽教室の数は、459軒。人口10万人あたりでは32.3軒に相当し、全国1位の水準である。なお、人口あたりの楽器小売店の数も、沖縄県は全国1位の水準である。沖縄では、音楽が暮らしの中に溶け込んでいるということがデータからもいえる。

琉球音階は、一般的に5音音階が特徴といわれ、西洋音階とは異なる。現代の沖縄音楽は、こうした特徴を取り入れつつも今なお新たな音楽を生み出し続けている。このパワーもまた沖縄の魅力だ。

(海邦総研/堀家盛司)

### おきなわデータ算歩 けーざい100

「データ算歩」は県内でよく話題になる事柄を具体的に数字で裏付けて紹介しようと試みたもので、経済・数字の世界をまさに算(散)歩感覚で楽しめようという内容です。

「食生活」「生活・消費」「産業」「住環境」など八項目に分類。漫画やグラフを使い、見開き2ページで1項目を説明しています。アイスクリームやビールの購入額が全国一低いなど意外と思える数字も紹介。読みたい項目から読めるよう工夫しています。

沖縄県内各書店やインターネットでもご購入いただけます。沖縄けーざいを易しく知りたい、興味のある、という方に特にお勧め!

<http://www.kaiho-ri.jp>